

公益財団法人日本英語検定協会の取り組み

2020年7月7日(火)

文部科学省 大学入試のあり方に関する検討会議（第十一回）

※本資料は、2020年7月現在の情報であり、今後の動向によって情報が更新される可能性があります。

- ① 公益財団法人日本英語検定協会について
- ② 実用英語技能検定（英検）各種方式
- ③ 成績ダウンロードシステム
- ④ 新型コロナウイルス対応 ～そして未来に向けて～
- ⑤ TEAP

① 公益財団法人日本英語検定協会について

1964年の東京五輪が、 英検創生の礎だった。

グローバル人材の育成が求められている我が国において、公益財団法人日本英語検定協会は、その実現を支援するパイオニアとして半世紀以上の歴史を積み重ねてきました。

誕生のきっかけは、1964年に開催された東京五輪でした。

先の東京五輪から受け継がれる 英検の使命

新幹線、高速道路などの交通インフラ、ファミリーレストラン誕生の背景といわれる1万人超が過ぎた選手村食堂での給食事業、駅や空港、道路上など公共空間で使われるピクトグラム(絵文字)……1964年に開催された東京五輪は、いまなお受け継がれる数々のスタンダードを生み出しました。そして、英検もそのひとつに含まれています。

驚異的な戦後復興を進め、国力を急速に回復させていた当時の日本が、国際社会に復帰する大舞台となった1964年の東京五輪。その頃、英語を操る能力の向上は、必須の課題となっていました。

そこで文部省(現:文部科学省)は、英語を学習する方に目標を与え、意欲を高めるための技能検定が必要であると考えました。その要請を受け、「実用英語の普及・向上」を目的として誕生したのが、財団法人日本英語検定協会(2012年に現在の公益財団法人へ移行)です。設立年は東京五輪開催の

前年である1963年。同年8月には文部省後援のもとに早くも第1回実用英語技能検定(1級・2級・3級)を全国47都市で実施。およそ38,000名が受験し、15,000名以上の合格者を輩出しました。その後、国際化の進展と共に英語熱が高まり、それによる社会的ニーズを受けて、級や試験の内容も多様化してまいりました。

現在では英検の他にも英検Jr.や英検IBA、TEAP、TEAP CBT、IELTS、BULATS、GCASなどさまざまな英語試験を運営していますが、英検は半世紀以上前から日本の英語技能試験のパイオニアとしての役割を果たし続けてまいりました。2015年度には累計志願者数1億人(英検Jr.、英検IBAを含む)を突破。変わりゆく時代の中で、英検は常に次代を見据えて、我が国の急務であるグローバル人材の育成を全力で支援してまいります。



① 公益財団法人日本英語検定協会について

事業沿革	
1963年(昭和38年)	● 創設 1961年に社会教育審議会が文部大臣に対し、社会教育拡充方策の一環として、青少年および成人に学習目標を与え意欲を高める意味で技能検定が必要である旨を答申。これを受けて、「実用英語の普及・向上」を目的として1963年4月に財団法人日本英語検定協会が設立され、同年8月、文部省後援のもとに第1回実用英語技能検定(1級・2級・3級)を全国47都市で実施、約38,000名が受験。第1回検定志願者数37,663名、合格者数15,259名。
1966年(昭和41年)	● 4級を新設 社会教育的な見地から発足した英検。中学・高校など学校からの反響が大きく、基礎クラスの級として4級を導入。
1968年(昭和43年)	● 文部省の認定を受ける 英検の意義と実績が認められ、社会教育上奨励すべきものとしてこの年2月、「文部省認定の技能検定」に認定。
1987年(昭和62年)	● 準1級・5級を新設 1級・2級間の程度差を適正化するための準1級と、初級学習者を対象とした5級が新設され、英検は6つの級に。英語教育に関する優秀な研究企画に助成金を交付する「英検研究助成制度」を発足。
1991年(平成3年)	● 学校への英検普及で中学・高校特別準会場を設置 中学・高校など学校での英検の利用拡大にともない、さらに受けやすい試験を目指し第1回・第2回検定の土曜日に特別準会場を設置。
1994年(平成6年)	● 準2級を新設、第1回「児童英検」を実施 2級・3級間に準2級が新設され英検は7つの級になり、第3回検定で4級・5級の公開会場を開設し個人の5級受験が可能となる。第1回「(財)日本英語検定協会主催児童英検」を実施。
2000年(平成12年)	● 文部省令による認定を受ける 青少年および成人の学習活動にかかわる知識・技能審査事業の認定に関する規則(文部省令)が施行され、8月、実用英語技能検定(英検)はその規定により認定。
2001年(平成13年)	● 年3回全級実施で受験機会を拡大 受験機会を増やすために、1999年に準2級と3級、2000年に2級を加えて実施してきた第3回検定。この年1級・準1級も入れて、年3回ともすべての級を実施する「フルグレード」の体制を整備。
2002年(平成14年)	● 中学・高校特別準会場で金・土曜日に英検実施 小・中・高校の週5日制に沿って、中・高特別準会場に金曜日を追加。「実践場面」での英語能力をより的確に評価するため、3級～5級の一次試験問題を改善。
2004年(平成16年)	● BULATS、日本での受験が可能に 英国ケンブリッジ大学英語検定機構と提携。
2006年(平成18年)	● 文部科学省の後援となる 政府方針により、平成17年度に、技能審査制度における「認定」というシステムが廃止。
2009年(平成21年)	● 児童英検オンライン版をリリース インターネットを使った新しいテストシステム「児童英検オンライン版」をリリース。
2010年(平成22年)	● 英語運用能力試験IELTSの運営開始 日本人のさらなる英語能力向上を目的に、世界的に認められている英語運用能力試験であるIELTS(アイエルツ)を、英国の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルと共同運営することで合意。
2012年(平成24年)	● 公益財団法人へ移行 当協会は、公共性と公益性の高い団体として、わが国の「実用英語」の普及と日本人の英語力向上に寄与していくことを目的に「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」(平成20年12月1日施行)に基づき公益財団法人への移行に向けた申請手続きを行い、内閣総理大臣より公益財団法人として認定する旨の認定書を受領。2012年4月1日より正式団体名称を「公益財団法人 日本英語検定協会」に改めました。
2013年(平成25年)	● 英検CBTの実施を開始 コンピューターを利用して英検を受験する英検CBTを開始。

① 公益財団法人日本英語検定協会について

事業沿革(続き)	
2014年(平成26年)	<ul style="list-style-type: none"> ● TEAPの実施を開始 「大学教育レベルにふさわしい英語力」を正確に測定することを目的とした4技能型のアカデミック英語能力判定試験であるTEAP(Test of English for Academic Purposes)の実施をスタート。 ● CSE1.0の発表 一般財団法人日本生涯学習総合研究所に委託して、国際基準規格であるCEFRと関連性を持たせた英語のテスト結果を比較可能とするユニバーサルなスコア尺度、「Common Scale for English」を開発。
2015年(平成27年)	<ul style="list-style-type: none"> ● 英検のテストブランドを統一(英検テストファミリー) 英検CSEスコアの実用化に伴い、2015年4月より「英語能力判定テスト」と「児童英検」をそれぞれ「英検IBA」と「英検Jr.」に名称変更。「英検テストファミリー」としてテストブランドを統一。 ● CSE2.0の発表 英語のテスト結果を比較可能とするユニバーサルなスコア尺度CSEの精度を向上させた「CSE2.0」が完成。英検の可否に加えて英検CSEスコアの表記をスタート。
2016年(平成28年)	<ul style="list-style-type: none"> ● 2級、4級、5級形式改定 2級にライティングテスト、4級、5級にスピーキングテストを導入。 ● TEAP CBTの実施を開始 TEAPのコンセプトを継承したコンピュータベーステスト。
2017年(平成29年)	<ul style="list-style-type: none"> ● 準2級・3級にライティングテストを導入 これにより3級以上のすべての級において4技能化を実現。 ● GCASの実施を開始 「ビジネスを動かす英語力」を測定する対面式スピーキングテストを開発。
2018年(平成30年)	<ul style="list-style-type: none"> ● 英検CBTの毎月実施を開始 4技能を1日で測定する英検CBTを8月より毎月実施。

協会理念

日常の社会生活に必要な実用英語の習得及び普及向上に資するため、英語の能力を判定し、また様々な機会を通じてその能力を養成することにより、生涯学習の振興に寄与することを目的とする。

主な事業

1. 英語能力判定事業
2. 実用英語の研修・教育事業
3. 実用英語の習得及び普及向上に繋がる研究及び事業に対する助成事業
4. その他、目的を達成するために必要な事業

【参考】英検ファミリー 受験の状況

英検（実用英語技能検定、英検IBA、英検Jr）の2019年度志願者及び累計推移

英検

後援：文部科学省

英検

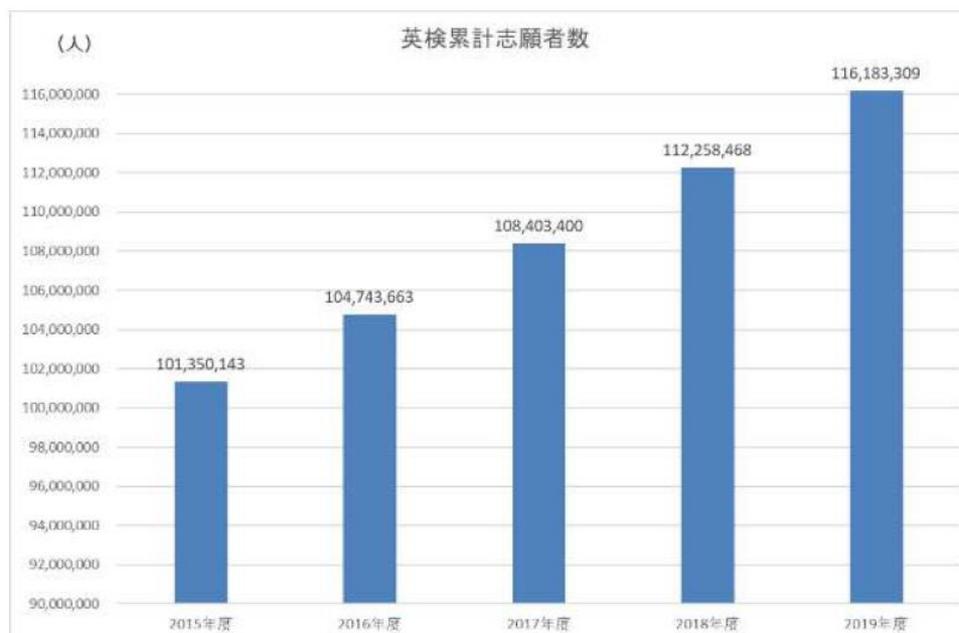
IBA

英検

Jr.

(実用英語技能検定、英検IBA、英検Jr. の志願者数の合算)

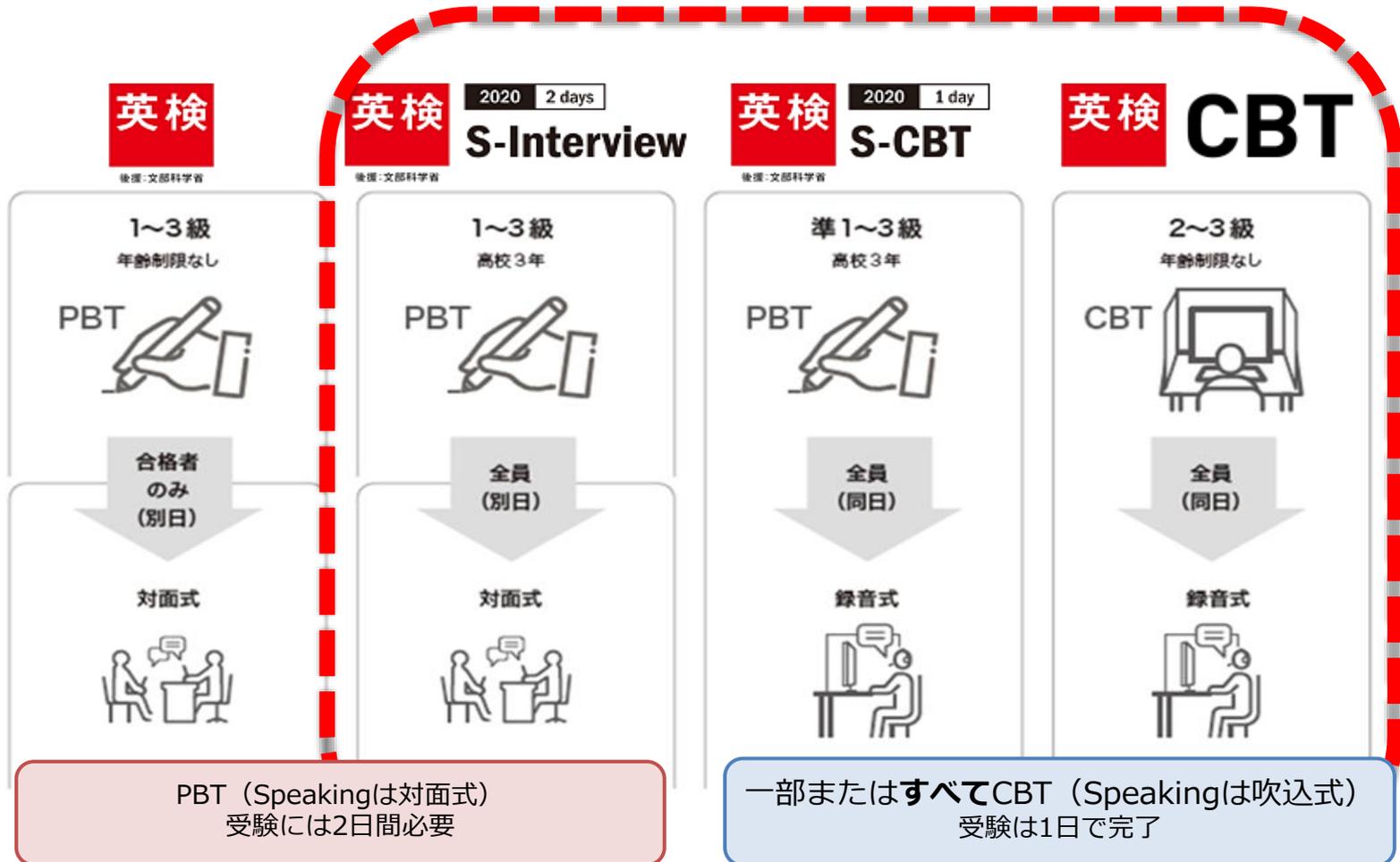
	小学校以下	中学・ 高等学校 (高専含む)	大学 (短大・専 修学校含 む)	その他	合計
2019年度実施分 志願者数 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)	408,957 人	3,049,342 人	73,321 人	393,221 人	3,924,841 人



② 実用英語技能検定（英検）各種方式

従来型と新方式 いずれも同じ「英検」

- ・ 出題内容、難易度、採点基準、合否判定、証明書類はすべて同じ
- ・ 英検CBTを含め、いずれも同じ「英検」資格として利用可能



③成績ダウンロードシステム

公益財団法人 日本英語検定協会では、入試業務効率化のため、**「英検（全方式）」「TEAP・TEAP CBT」**の成績ダウンロードシステムをご希望する大学様へ提供しています。

**POINT**

成績データ提供の申請状況は、申請日時、申請番号、ご担当者名、データ作成状況、作成件数と申請件数、ダウンロード日時などが一覧できるため、申請漏れや入力漏れを防げます。

④ 新型コロナウイルス対応 ～そして未来に向けて～

＜4~5月は全検定を延期。第1回英検(従来型)にて、より多くの日程をご用意＞

お知らせ

2020年度 第1回「英検」試験日程変更（延期）のお知らせ

【記】

■ 2020年度 英検 第1回検定 新・試験日程（変更後）

【本会場】（S-Interview含む）※申込締切日は予定どおり4月28日（火）まで

一次試験 2020年6月28日（日）

二次試験 2020年8月23日（日）

【準会場】※申込締切日は現時点では5月12日（火）まで（延長を検討中）

一次試験

2020年6月28日（日）

2020年7月17日（金）※中高特別準会場

2020年7月18日（土）

2020年7月25日（土）

二次試験

2020年8月22日（土）

2020年8月23日（日）

※本会場、準会場ともに、二次試験の成績返却は9月8日（火）（ウェブサイトでの合否結果閲覧日は9月1日（火））を予定しております。

④ 新型コロナウイルス対応 ～そして未来に向けて～

<英検S-CBTにおける対策>

受験者の皆様の安全確保のため、試験会場でおこなう感染予防対応

- 試験監督スタッフにはヘルスチェックをおこなわせ、健康状態に問題がないことを確認しております。
- 試験監督スタッフにはマスクを着用させます。ご了承ください。
- 受験者の皆様につきましてもマスクの着用をお願いいたします。
- 併せて、会場入り口に設置するアルコール消毒剤で、手指の消毒をしていただきます。
- 試験会場内では空調の使用や換気をおこないます。
- 会場内で受験者が触れるパソコン機器（キーボード・マウス・ヘッドセット）、ドアノブ等は、各試験時間前に消毒しております。
- 会場にて受験者様にもヘルスチェックをおこなっていただきます。
- また、ヘルスチェックの結果で、1項目でも問題がある場合は、当日の受験をお断りする場合があります。

<当日のヘルスチェック項目> 当日試験会場にて、以下の項目を質問させていただきます。

現在の体調 について	<input type="checkbox"/> いつもの体温と比べて発熱がある	<input type="checkbox"/> のどの痛みや、強いだるさがある
	<input type="checkbox"/> 咳がある	<input type="checkbox"/> 息苦しい
	<input type="checkbox"/> 下痢をしている (持病や食あたりなどを除く)	<input type="checkbox"/> 味がしないにおいがしない
	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルスと診断されている 人と2週間以内に会った	<input type="checkbox"/> 14日以内に海外渡航歴がある
	<input type="checkbox"/> 風邪の症状が続いている	<input type="checkbox"/> 同居する人が以上の各項目に あてはまる
	<input type="checkbox"/> そのほか、体調が悪い	

- 激しい咳などの症状により、他の受験者様への影響が懸念される場合は、各テストセンターの実施委員の判断により、個別に「試験の中断」あるいは「退出」指示をさせていただく場合があります。

試験会場にお越しになる受験者様へのお願い事項

● 以下の場合、受験をご遠慮ください。

- 当日具合が悪い場合
- 受験の前2週間以内に、発熱や感冒症状で受診や服薬等をした場合
- 感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある場合
- いつもの体温と比べて発熱がある場合
※厚生労働省や文部科学省の発表を参考にしています。

● 受験の際は、以下の点にご協力ください。

- マスクを着用いただくか、マスクがない場合はハンカチ等を使用いただき咳エチケットにご配慮ください。
(ハンカチ等をお忘れの方には、会場でティッシュ等をお渡しいたします。)
- 飛沫飛散防止のため、受験会場での必要外の私語をご遠慮ください。
- 会場におきまして、手洗いやアルコール消毒を行ってください。
- 感染防止の観点で、以下の持ち込みを許可します。
 - アルコールティッシュ、ビニール手袋（透明）
※不正行為防止のため、中身を確認させていただくことがあります。
※液体類の試験教室内への持ち込みはできません。
※ヘッドセット、キーボード、マウス等の機器類の持ち込みはできません。

以上

※英検全方式、TEAP、TEAP CBT、IELTS等においても同様に対策を講じております。

④ 新型コロナウイルス対応 ～そして未来に向けて～

英検

各位



2020年6月26日
公益財団法人 日本英語検定協会
株式会社 EduLab

速報

在宅で「英検」CBT版が受験可能となる
新 CBT サービス提供に向けた共同開発のお知らせ

公益財団法人 日本英語検定協会（東京都新宿区、理事長：松川孝一、以下「英検協会」）は、教育サービス事業を展開する、株式会社 EduLab（エデュラボ、東京都渋谷区、代表取締役社長：高村 淳一、以下「EduLab」）と共同で、今後、在宅で実用英語技能検定（以下、「英検」）の CBT 版が受験可能となる、新 CBT サービス提供に向けて開発に着手したことを、まずは速報としてお知らせいたします。

このサービスでは、試験監督システムとして EduLab が開発する、国内のネット関連サービスとしては初のオンライン試験監督システムを用い、AI と人とのダブルで本人確認や不正行為のチェックを行います。

現在、国内で提供されている、在宅受験方式の試験は、欧米のシステムを活用したものです。英検協会としては、今後、EduLab と共同で、実導入に向け、AI をフルに活用し、現存のシステム以上の厳正性と公正性を追求すべく、開発を進めてまいります。

なお、サービス提供の時期につきましては、できるだけ早期に、今年度（2020 年度）中の開始を目指してまいります。

詳細は決定しましたら、別途お知らせいたしますので、今暫くお待ちくださいますようお願い申し上げます。

⑤ TEAP

- Test of **E**nglish for **A**cademic **P**urposes
- 上智大学と共同で5年の歳月をかけ開発され、2014年から提供開始
- 大学教育で遭遇する語彙・場面・分野（英語で講義を受ける、英語の文献を読み解く、英語で発表を行うなど）を想定した設定・内容



- 受検対象は高校1年生以上、難易度の目安は英検準2～準1級
- 4技能で構成され、「Writing」「Speaking」については英国の研究機関「CRELLA」の監修のもと開発
- 2016年より、TEAP CBTがスタート

公益財団法人
日本英語検定協会



上智大学



CRELLA

英語検定50年の実績

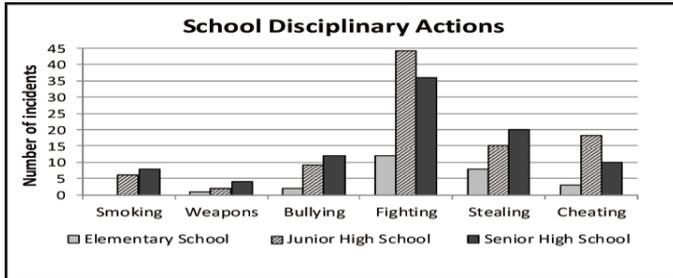
第二言語習得理論の知見

英語学習と評価の専門機関

<問題構成>

技能	試験時間	問題数	解答方式
Reading	70分	60問	マークシート (4択)
Listening	50分	50問	マークシート (4択)
Writing	70分	2問	解答用紙への記入
Speaking	約10分	4問	面接 (面接官と1対1)

■ Reading



School officials in the city of Winston are working to limit the number of disciplinary actions in their schools. Based on the above graph, which strategy would be most effective in junior high schools?

- 1 Making more effort to educate students about the health risks of smoking.
- 2 Holding workshops about study skills and exam-taking strategies.
- 3 Providing instruction on how to resolve conflicts peacefully.
- 4 Banning valuable items such as electronics and cell phones in schools.

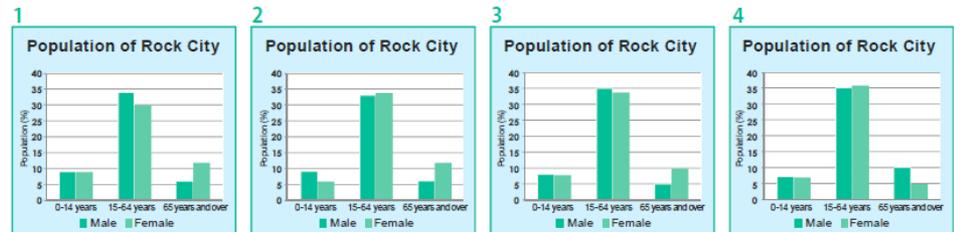
Listening リスニング

★, ☆ = 音声

Part 1C

☆ The results of the 2010 census taken in Rock City have been a topic of conversation recently. The proportion of male children aged 14 and under is equal to the proportion of female children in that age group. However, the proportion of males 65 years and over is only half that of females in the same category. The proportion of males and females aged 15 to 64 differs by only 1%.

★ Question : Which graph best fits the description given?



正解 : 3 **ねらい** 図表の理解とともに、その英文による説明を聞き取る力を求めます。

Writing ライティング

100点満点

試験時間	70分	問題数	2問
解答方式	解答用紙への記入		
評価方法	認定された採点者による採点		

大問	問題形式	ねらい
Task A 1問	課題文の要約	説明文・評論文などの要約を書く。
Task B 1問	エッセイ	複数の情報(図表も含む)に基づいてエッセイを書く。

Task A 試験の特徴

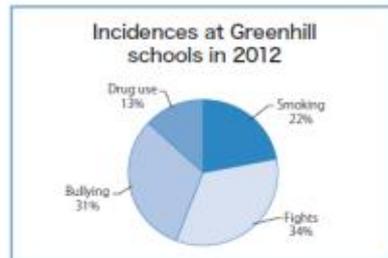
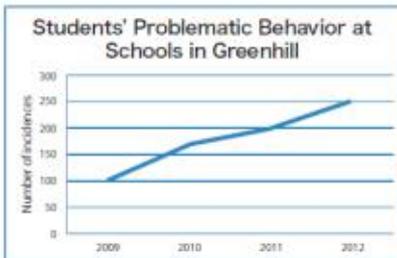
論説記事などを読み、70語程度の要約を作成します。

Task B 試験の特徴

複数の情報源(図表を含む)から論点を読み取り、それらを統合したうえで自身の考えを200語程度で展開することが求められます。

Task B

Your teacher has asked you to write an essay for class using the information below. Describe the situation concerning schools in Greenhill and summarize the main points about the solutions that have been suggested. In your conclusion, say which of the solutions you think would work the best based on the reasons given. You should write about 200 words.



Education News

There are several ways to deal with the problems in Greenhill schools. Mike Parker, the principal at North Greenhill High School, thinks that giving teachers more knowledge about background issues is the first step. Parker talked about his ideas at a recent meeting with parents. "We have to educate teachers better about problems like drug use and bullying," Parker said. He also pointed out that trouble at home can lead to behavior problems at school. "Our teachers need more information about this," he said. Parker wants to hold special classes for teachers this summer. The classes would help them understand the problems young people face.

However, Parker suggested that other steps are also necessary. For example, according to recent studies, students are more comfortable talking to counselors than to teachers. One reason is that students can talk to counselors in private. This allows students to discuss their feelings, thoughts, and personal experiences more easily. "Perhaps most importantly," said Parker, "counselors are trained to be good listeners."

Many schools offer job counseling to students, but not advice about personal problems. Parker wants his school to hire more counselors as soon as possible.

LETTERS TO THE EDITOR

Dear Editor,

The situation at Greenhill schools is serious and requires immediate action. I would like to offer some advice, based on my many years of experience as a junior high school teacher. First, the classes in our local schools are simply too large. Teachers cannot handle so many students at once. Research has shown that when schools reduce class sizes, student performance improves. Teachers can spend more time with each student, and students get to know their teachers better. This may not solve all of the current problems, but it is a good place to start.

I also believe that many teachers do not understand the challenges faced by today's students. The only way to solve this problem is to give teachers better training. For example, they could attend classes to learn about how student behavior is affected by stress at home. The classes could also provide information about new kinds of illegal drugs and what their dangers are. If teachers do not have this type of special training, they will not be able to help students. The problems in our schools will only get worse.

Finally, I want to thank all of our teachers for their hard work.

Sincerely,
Sarah Case

ねらい 複数の文章・図表から問題点と解決策を読み取り、また自分の意見を述べる力を求めます。

Speaking スピーキング

100点満点

試験時間	約10分	問題数	4問
解答方式	Examinerとの1対1の面接方式		
評価方法	認定された採点者による採点		
注意事項	試験内容は録音され、採点に利用されます		

大問	問題形式	ねらい
Part 1 1問	受験者の生活に関する質問(質問は複数)	受験者自身のことについて説明する。
Part 2 1問	受験者がExaminerにインタビュー(ロール・プレイ型)	対話における効果的なやりとり(対話のリード)をする。
Part 3 1問	1つのテーマに沿ったスピーチ	与えられたテーマに関して、まとまりのあるスピーチをする。
Part 4 1問	Q & A(質問は複数)	与えられた話題に関する質問に答える。



Part 2 受験者がExaminerにインタビュー(ロール・プレイ型)
下の例題では、「高校の先生にインタビューをする」という設定で受験者が質問を行います。

見本トピックカード

Begin your interview with this sentence: "Hello, may I ask you some questions?"

Ask questions about:

- The grade he/she teaches
- The subject(s) he/she teaches
- Problems in class
- Advice for future high-school teachers

ねらい ロール・プレイ型にすることで受験者が対話を主導し、情報を引出す力を求めます。

試験の特徴

試験は受験者入室から退室まで連続して録音されます。Part 2では受験者が自ら対話をリードしていくことも求められます。

【参考資料】 2017年度入試 外部検定の利用状況

英語教育改革とは？

4技能を測る民間入試改革先進大学の動向

英検の取り組み

動画

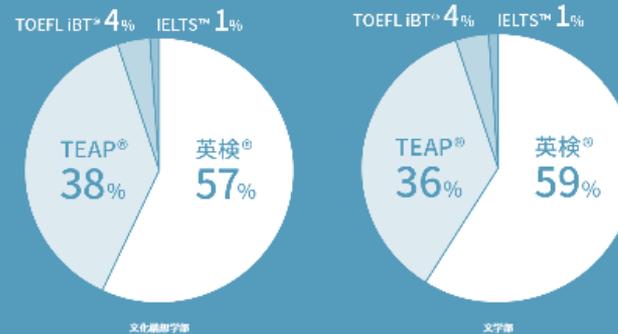
よくあ

早稲田大学

文学学術院 教授
安藤 文人 先生文化構想学部・文学部は
なぜ4技能入試を始めたのか？

世界に発信できる人材の育成をめざす早稲田大学文化構想学部・文学部では、2004年度から進めてきたカリキュラム改編の一環として、2017年度入試より「一般入試（英語4技能テスト利用型）」を導入しました。

2017年度一般入試（英語4技能テスト利用型）志願者の割合

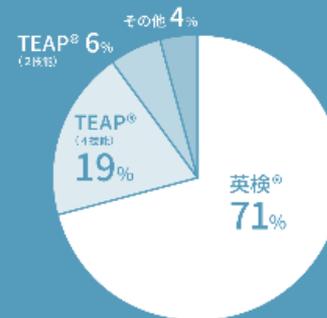


東洋大学

理事 入試部長
加藤 健二 様一般入試前期で
全13学部が4技能試験を利用！

大学の国際化推進に伴い、「グローバル人材」の育成をめざす東洋大学では、英語コミュニケーション能力を持った学生を求めて、全学部で一般入試前期日程において、「英語外部試験スコア」利用制度を導入しています。

2017年度一般入試前期における英語外部試験利用状況



End